

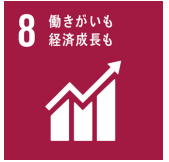
1949年12月2日に「人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約」（人身売買禁止条約）が国連で採択されたことにちなみ、1986年に制定されました。

## 奴隷とは

奴隷とは、人間としての権利、名誉、自由などが認められず、他人の所有物として扱われ、売買される人のことを言います。世界人権宣言第4条で禁止されています。

## 現代版奴隷（Modern Slavery）とは

奴隷は過去・海外の事象ではなく、現在も強制/児童労働・人身売買・強制結婚/児童婚など、「現代版奴隷」と呼ばれる形で残っており、主に子ども、女性、移民が（国家によるもの・性的なケースも含めて）搾取されています。



SDG8.7で現代版奴隷の根絶が定められており、現代版奴隷制度を法律で禁止する国（イギリス、オーストラリアなど）も増えつつありますが、コロナ禍・ICTの発達などの時代の流れに合わせて手口が多様化しているところにコロナ禍の影響が重なり、世界で現代奴隷として生活している人は2021年時点で5,000万人（世界の150～160人に1人）と推計されています。

## 日本の取り組みは遅れている

日本でも奴隷制度は古くから行われていましたが、現代でも不当な雇用条件・労働環境で人を奴隷のように働かせる「ブラック企業・バイト」、家族や夢のために来日した若い外国人を劣悪な労働環境・条件で働かせ、人権を侵害する「外国人技能実習制度」の悪用が国内外から長年非難されてきましたが、政府の対策・取り組みは未だに国際社会の中でも特に遅れています。



## 若者が騙されて犯罪に手を染めさせられる「闇バイト」問題

そんな中、コロナ禍による不況の影響で、10代の若者がSNSで騙されて詐欺・強盗・売春・ドラッグ売買・密輸行為などの犯罪に加担する「闇バイト」が2023年頃から多発するようになり、新たな現代版奴隷制度として社会問題化しています。



ワーク：「便利・おいしい・楽しい・嬉しい」など、私たちに笑顔をもたらす物事の裏で、誰か（場合によっては自分）が血や涙を流すような奴隷制度を根絶するため、私たちにどんなことができるか考えてみよう。

※アクションの規模・自分ができるとかは問いません。

参考・引用  
・国際労働機関（ILO）「現代奴隷制の世界推計（Global Estimates of Modern Slavery: Forced Labour and Forced Marriage）」（英語）  
日本語版概要：「ILO新刊：「現代奴隷制の世界推計」「現代奴隷」、世界で5千万人に」（2022年9月12日）

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント 検索

©認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

